山県市 洪水ハザードマップ

▶ 高富地域版

洪水ハザードマップについて

2021年 4月

● 洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップは、大雨で河川が増水し、堤防の決壊等により河川が氾濫した場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度ならびに避難所等を示したものです。

災害から自分の命を守るためには、自分の住む地域の災害のリスクを知り、もしも災害が発生した場合に自分がどのような行動をとるべきかを考えておくことが大切です。普段からこの洪水ハザードマップを活用いただき、もしもの災害に備えましょう。

● 洪水ハザードマップの改訂

平成27年5月に水防法が一部改正され、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合の浸水想定区域図が国や県から公表されたことに伴い、洪水ハザードマップを改訂しました。今回の改訂のポイントは以下のとおりです。

①想定する浸水情報を、国土交通省及び岐阜県が発表した浸水想定区域図及び水害危険情報図を基本とし、以下の2種類の降雨で氾濫した場合の洪水浸水想定区域を示しました。

表面	計画規模（L1）	河川整備において基本となる降雨、概ね100～150年に一度発生し得る降雨を想定 ※対象河川ごとの洪水浸水想定区域図及び水害危険情報図を掲載
裏面	想定最大規模（L2）	想定し得る最大規模の降雨、概ね1000年に一度発生し得る降雨を想定 ※対象河川の洪水浸水想定区域図及び水害危険情報図を重ね合わせた図を掲載

②想定する降雨規模の拡大に伴い、想定の対象とする河川を見直し、以下の17河川としました。

対象河川　鳥羽川、伊自良川、武儀川、新川、石田川、椎倉川、東川、楠川、しびり川、エゴ川、西洞川、日永谷川、出戸川、船越川、神崎川、伊佳戸川、柿野川

災害・避難カード

手順1　安全に避難が完了するまでの所要時間を書きましょう。

■わが家の避難先（安全な場所）は？　　■家族が離ればなれになったときの集合場所は？

（A）

■避難先（A）まで行くのに片道何分？

平常時	豪雨時	平常時の合計時間	豪雨時の合計時間
① 徒歩なら　分	③ 徒歩なら　分	徒歩なら　分	徒歩なら　分
② 車なら　分	豪雨時は車での避難は危険ですので「使用不可」として記入しません。	①④⑤の合計時間を記入	③④⑤の合計時間を記入
④ 避難を決断してから家を出るまでに何分？　分		車なら　分	豪雨時は車での避難は危険ですので「使用不可」として記入しません。
⑤ 要支援者を支援するのに何分？　分		②④⑤の合計時間を記入	

手順2　「誰と」「何を持って」避難しますか？

■誰と避難しますか？　　■連絡先は？

■何を持って避難しますか？

※詳しくは裏面「立ち退き避難時の心得」参照

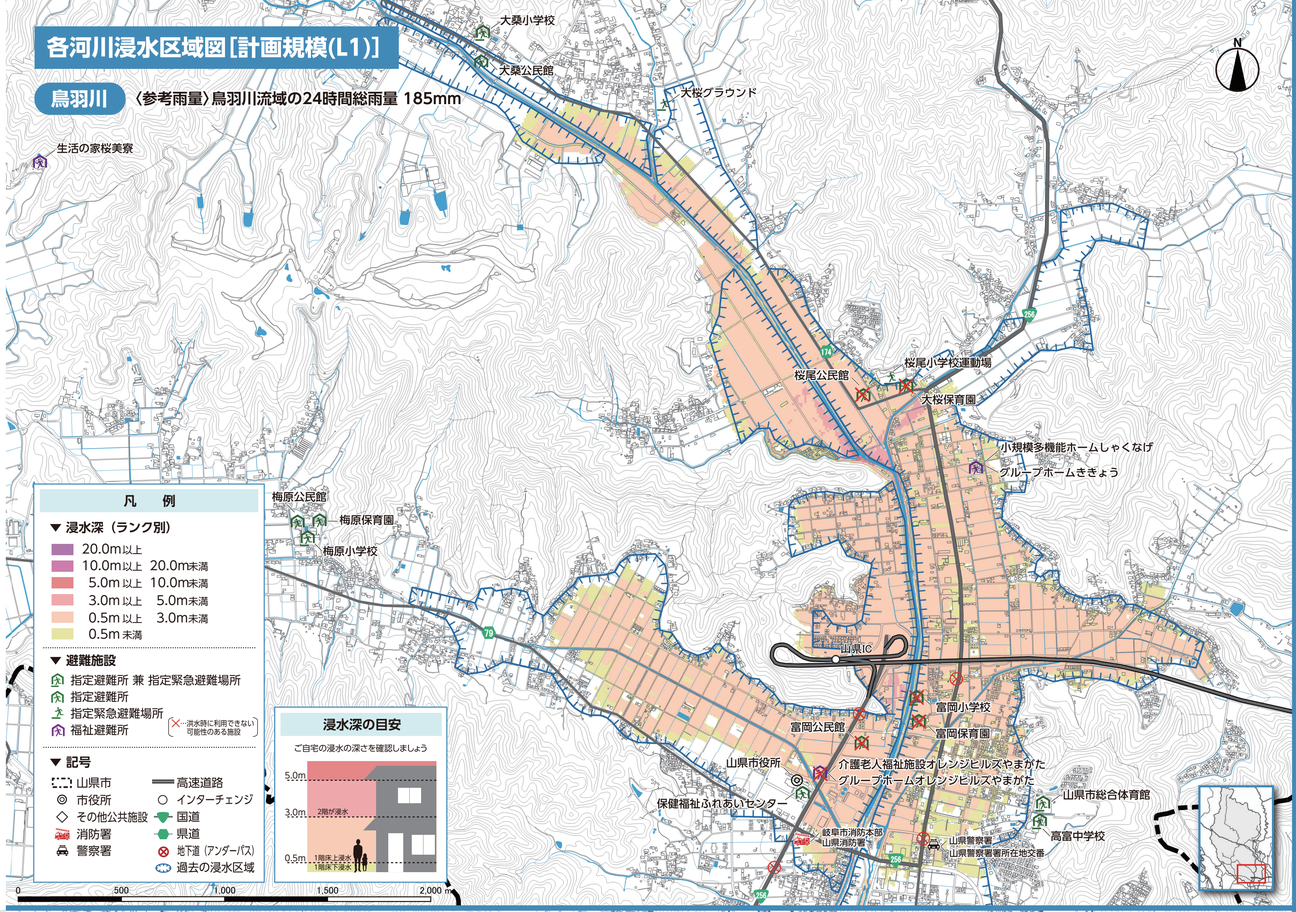
手順3　わが家の警戒体制と避難のタイミングを書きましょう。

安全に避難するには、河川水位、雨量、テレビの情報、市の避難情報などに警戒することが大切です。
あなたは「どのような情報を警戒」し、その情報は「どうやって入手する」のか、「どんな行動をとる」のかを明確にしておきましょう。

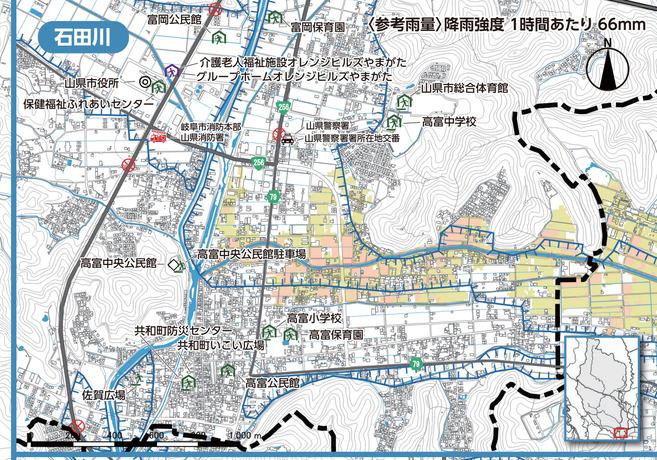
洪水予報の種類	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
Q1 どのような情報を警戒しますか？				
Q2 その情報は、どうやって入手しますか？				
Q3 どんな行動をとりますか？				
Q4 いつまでに避難を完了しますか？そのためにいつ避難を開始しますか？	いつまでに「避難完了」するかを書き、手順1の〈避難所要時間〉を逆算して「避難開始」のタイミングを記入します。			

※詳しくは裏面「避難情報と行動の種類」参照

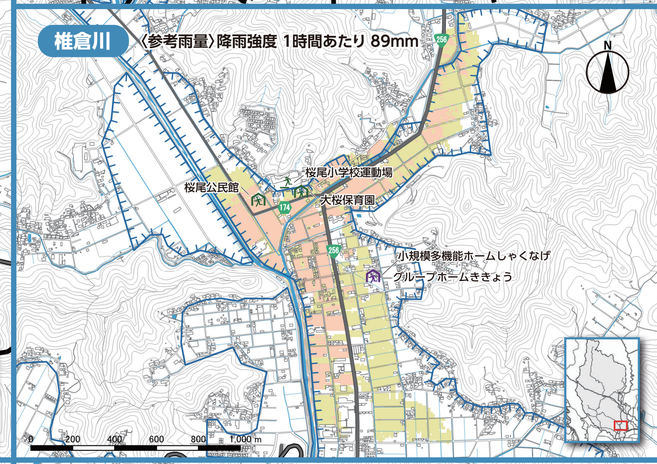
各河川浸水区域図［計画規模(L1)］



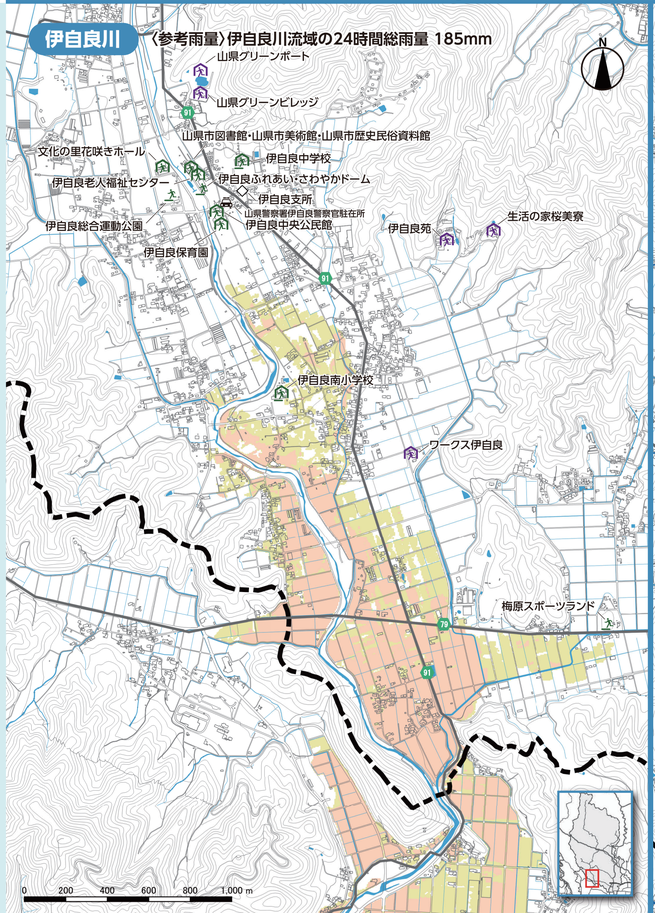
石田川



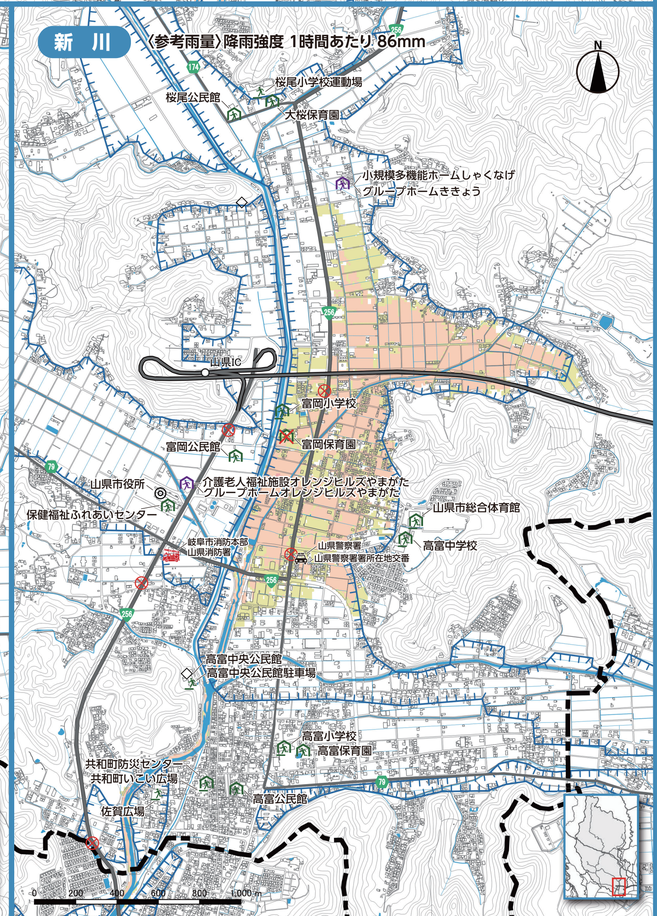
椎倉川



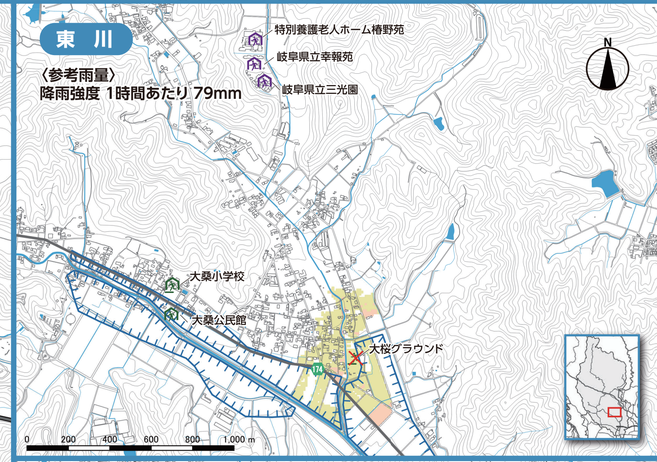
伊自良川



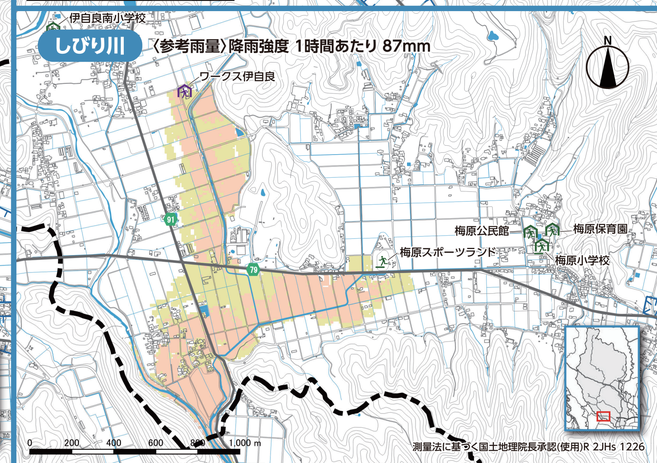
新　川



東　川

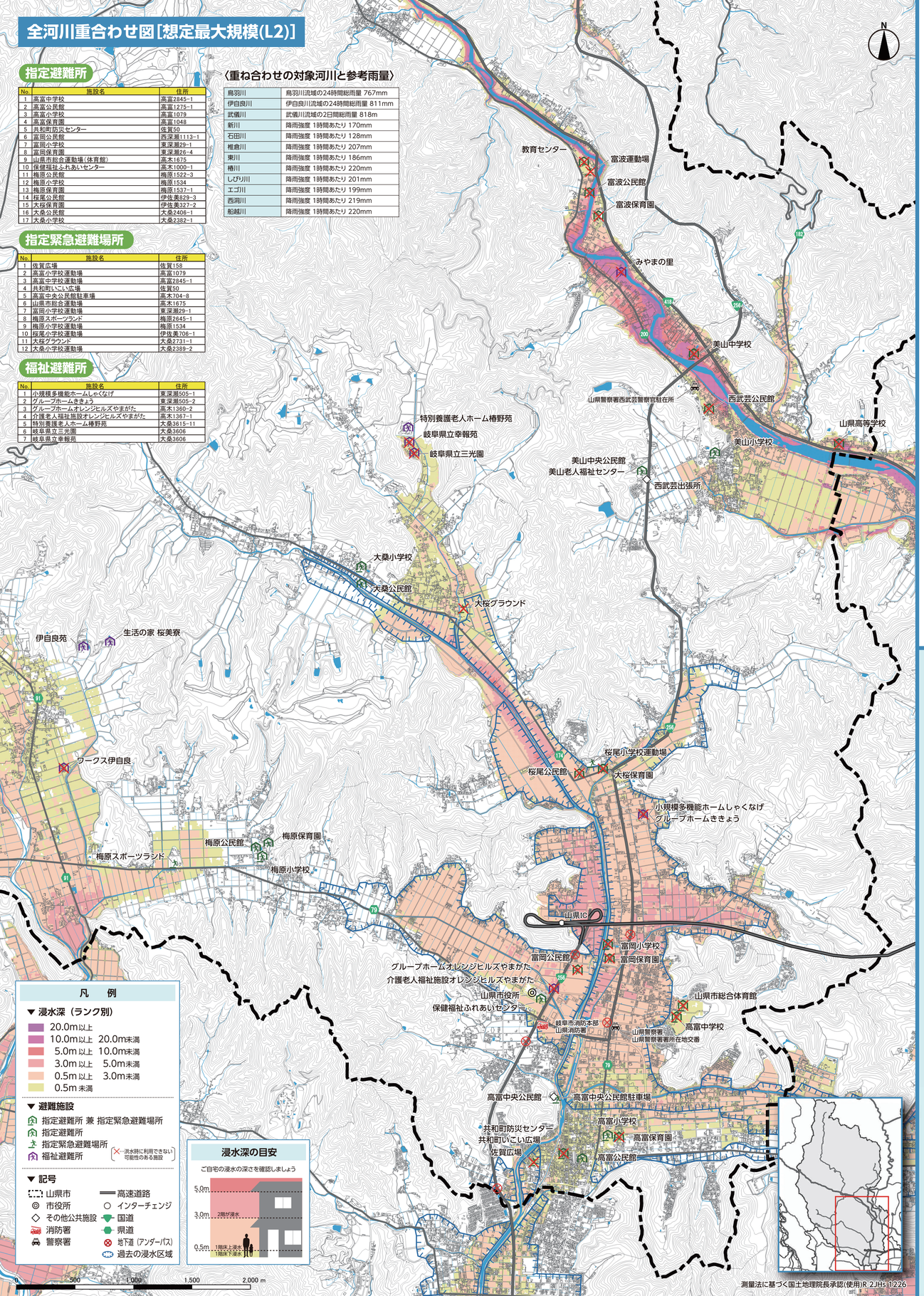


しびり川



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1226

全河川重合わせ図[想定最大規模(L2)]



指定避難所

No.	施設名	住所
1	高富中学校	高富2845-1
2	高富公民館	高富1275-1
3	高富小学校	高富1079
4	高富保育園	高富1048
5	共和町防災センター	佐賀50
6	富岡公民館	西深瀬1113-1
7	富岡小学校	東深瀬29-1
8	富岡保育園	東深瀬26-4
9	山県市総合運動場(体育館)	高木1675
10	保健福祉ふれあいセンター	高木1000-1
11	梅原公民館	梅原1522-3
12	梅原小学校	梅原1534
13	梅原保育園	梅原1537-1
14	桜尾公民館	伊佐美829-3
15	大桜保育園	伊佐美327-2
16	大桑公民館	大桑2406-1
17	大桑小学校	大桑2382-1

〈重ね合わせの対象河川と参考雨量〉

鳥羽川	鳥羽川流域の24時間総雨量 767mm
伊自良川	伊自良川流域の24時間総雨量 811mm
武儀川	武儀川流域の2日間総雨量 818mm
新川	降雨強度 1時間あたり 170mm
石田川	降雨強度 1時間あたり 128mm
椎倉川	降雨強度 1時間あたり 207mm
東川	降雨強度 1時間あたり 186mm
楊川	降雨強度 1時間あたり 220mm
しげり川	降雨強度 1時間あたり 201mm
エゴ川	降雨強度 1時間あたり 199mm
西洞川	降雨強度 1時間あたり 219mm
船越川	降雨強度 1時間あたり 220mm

指定緊急避難場所

No.	施設名	住所
1	佐賀広場	佐賀158
2	高富小学校運動場	高富1079
3	高富中学校運動場	高富2845-1
4	共和町いこい広場	佐賀50
5	高富中央公民館駐車場	高木204-8
6	山県市総合運動場	高木1675
7	富岡小学校運動場	東深瀬29-1
8	梅原スポーツランド	梅原2645-1
9	梅原小学校運動場	梅原1534
10	桜尾小学校運動場	伊佐美706-1
11	大桜グラウンド	大桑2731-1
12	大桑小学校運動場	大桑2389-2

福祉避難所

No.	施設名	住所
1	小規模多機能ホームしゃくなげ	東深瀬505-1
2	グループホームききょう	東深瀬505-2
3	グループホームオレンジヒルズやまがた	高木1360-2
4	介護老人福祉施設オレンジヒルズやまがた	高木1367-1
5	特別養護老人ホーム椿野苑	大桑3615-11
6	岐阜県立三光園	大桑3606
7	岐阜県立幸報苑	大桑3606

建物の浸水想定深は

予想される浸水の深さ、お住まいの建物の高さによって、必要な避難行動に違いがあります。
自分に必要な避難行動を知っておきましょう。

予想される浸水の深さ	建物の階層（戸建て住宅の場合）	居住階（集合住宅の場合）
5m以上（3階浸水）	4階建て以上	4階以上
	3階建て以下	1～3階
3m～5m（2階浸水）	3階建て以上	3階以上
	平屋または2階建て	1, 2階
0.5m～3m（床上浸水）	2階建て以上	2階以上
	平屋建て	1階に居住
0.5m未満（1階床下浸水）	全ての建物	

着色なし（浸水想定なし）→ 想定以上の降雨もあり得るので注意してください。

避難行動

- 屋内退避不可 早めに避難施設へ
- 避難所へ避難（立ち退き避難）
- 逃げ遅れたら 屋内退避・垂直避難

屋内退避・垂直避難の際の注意点

水道や電気・ガス・トイレなどが3日～1週間以上使えなくなることもあります。十分な準備と長期間孤立してしまうことの覚悟が必要です。

高い建物でも、浸水が及ぶ高さにとどまっていては危険です。建物の上層階など、浸水から安全に身を守れる場所へ避難しましょう。

避難行動のポイント

危険が近づいたらすぐに安全な避難所等に避難することが大切です（水平避難）。しかし、避難している最中に被害にあう可能性もあります。

下記の項目に一つでも当てはまる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難し、命を守る最低限の行動をとりましょう（垂直避難）。

立ち退き避難
- ❶避難場所・避難所への移動
- ❷避難場所・避難所以外の安全な場所（親戚や友人の家等）への移動
- ❸近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動

屋内垂直避難
- ❹建物内のより安全な場所（高い場所など）への移動とその場所での待機

立ち退き避難の前に、以下の項目をチェックしてみましょう。

- □ 夜間で避難路上の危険個所がわかりにくい。
- □ 避難所までにひざ上以上（50cm以上）に浸水しているところを通らなければいけない。
- □ 避難路に崩れそうな斜面がある。
- □ 浸水は浅い（20cm程度）が、水の流れがはやい。
- □ 避難路に蓋のない用水路があり、位置がわからない。

避難情報と行動の種類

警戒レベル	河川の水位	国土交通省・気象庁が発表する情報	市が発表する行動を促す情報	市民のみなさんがとる行動	（参考）行動を促す情報の今後の改定の見込み
5	氾濫の発生	氾濫発生情報	災害発生情報（発生を確認した際に発令）	・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする	緊急安全確保
4	堤防高に達する予測		避難指示（緊急）	・予想される災害に対応した避難所などへの立退き避難を基本とする避難行動をとる ・災害が発生する恐れが極めて高い状況などで、避難所などへの立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋への移動などの緊急の避難をする	避難指示
4	氾濫危険水位（危険水位）	氾濫危険情報	避難勧告		
3	避難判断水位（特別警戒水位）	氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始	・避難に時間のかかる高齢者などの要配慮者とその支援者は立退き避難する ・その他の人は立退き避難の準備をし、自発的に避難する	高齢者等避難
2	氾濫注意水位（警戒水位）	氾濫注意情報			
1	水防団待機水位（通報水位） 水防団待機の目安となる水位				
	平常時の水位				

市では国土交通省・岐阜県、気象庁が発表する情報、雨の降り方や河川の状況等を総合的に判断し、必要に応じて避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）を発令します。

※「今後の改定の見込み」は、令和2年12月に公表された「令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループ」による最終とりまとめをもとに作成したものであり、今後変更となる可能性があります。

気象予警報・河川状況などの情報

国土交通省「川の防災情報」
雨の状況や川の水位など、避難に必要な情報をリアルタイム確認できます。
https://www.river.go.jp/ （PC 版）
https://www.river.go.jp/s/ （スマホ版）

気象庁「浸水害・洪水危険度分布」
土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数の警報等の基準への到達状況により、雨による災害発生の危険度を判定した情報を確認できます。
（浸水害） （洪水）
■浸水害 https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html
■洪水 https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html

気象庁「高解像度降水ナウキャスト」
気象レーダーの観測データを利用して、30 分先まで 5 分間隔で 250m 解像度での降水の短時間予報を確認できます。
https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/

岐阜県「川の防災情報」
県内の雨量情報や河川の水位情報等、避難に必要な情報を確認できます。
http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/ （PC 版）
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/sp/ （スマホ版）

岐阜県「ぎふ土砂災害警戒情報ポータル」
土砂災害警戒情報を補足する情報や、県内の現在の雨量を確認できます。
http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/

■問合せ先　山県市　総務課防災対策室　TEL 0581-32-9100

立ち退き避難時の心得

1 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な人、乳幼児などへ優先的に配布されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。

■**あまり重いと避難行動に支障がでるので、重すぎる場合は減らしましょう。**

■**水を注ぐだけで簡単にできる、比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。**

■**各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。**

男性15kg 女性10kg 程度が重さの目安です

非常持ち出し品チェックリスト

食料関係
- 飲料水（1人1日3リットル程度）
- 乾パン・クラッカー
- 缶詰
- レトルト食品
- カップラーメン
- 粉ミルク（赤ちゃんがいる場合）

救急薬品・常備薬
- 消毒薬
- 体温計
- 包帯
- 解熱剤
- 絆創膏
- ガーゼ
- 胃腸薬
- 目薬
- 持病のある人は常備薬
- かぜ薬
- 鎮痛剤

安全対策
- ヘルメット
- 軍手
- 底の厚い靴

衣類関係
- 衣類・下着
- タオル
- 雨具
- 寝袋
- 毛布

貴重品
- 現金
- 身分を証明するもの
- 貯金通帳
- 印鑑
- 有価証券などの権利証券
- 健康保険証

日用品
- 懐中電灯
- 生理用品
- 筆記用具
- ロープ
- 携帯ラジオ
- 紙皿・紙コップ
- ブルーシート
- マスク
- 予備の電池
- ナイフ・缶切り・栓抜き
- 使い捨てカイロ
- ほうきピン・拡ぎむで（赤ちゃんがいる場合）

- なべ・水筒
- キッチン用ラップ
- 割りばし
- 大きいゴミ袋・ビニール袋
- 卓上コンロ・ガスボンベ
- ティッシュ・ウエットティッシュ
- マッチ・ライター・ろうそく

2 避難先・避難ルートを確認しておきましょう

浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、平時から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも市が準備した避難所である必要はありません。親戚宅、知人宅、職場なども避難先の選択肢になり得ます。

3 避難の方法を確認しておきましょう

自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞を巻き起こしますのでやめましょう。どうしても自家用車での避難をしたい場合は、さらに早めの避難開始が重要です。

4 早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。市は降雨や河川水位などの情報をもとに避難勧告等の発令により避難を呼びかけますが、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。避難する際には、避難所が開設されているかを確認してから避難しましょう。

5 ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

6 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

長靴や裸足は禁止です。運動靴をはきましょう。

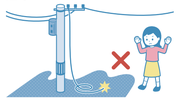
長い棒をつえ代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。

深い浸水だとマンホールに気づかず、吸い込まれてしまう場合があります。

歩ける深さの目安は男性で70cm、女性で50cmまでです。それ以上は救助を待ちましょう。
※水深が浅い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。

はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。

切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。



高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。

幼児は浮き袋やベビーバスなどが便利です。

はん濫による水は汚水が混ざっているので、むやみにさわらないようにしましょう。

大雨や台風の接近により自宅から避難する時、持って行くべき物を確認しましょう。

避難所は身の安全を確保する場所です。**避難に必要な物は自分で持ち込みましょう。**

台風などによる半日～1日程度の避難の場合

■**食べ物は必ず持っていきましょう！**
- 避難が必要な期間に自分が食べるだけの食料（おにぎり・弁当・パン・インスタント食品・缶詰・お菓子など）は、自分で持っていきましょう。
- 台風が近づく前に食料を買っておきましょう。
- 水分は多めに用意しておきましょう。

■**その他必要な物も確認しましょう！**
- 食料の他、自分に必要な物（寝袋、アイマスク・携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池・モバイルバッテリーなど）も持っていきましょう。
- 夜を明かさなければならない場合も考えて、睡眠を快適にするグッズの準備も検討しましょう。
- 持病をお持ちの方は、お薬を忘れずに！

7 市指定の避難所での注意

水害時に開設される市指定の避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することとなります。大声を出したり騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

ペットと同行避難する場合には、ケージなど必要な資材やペットフードはできる限り持参しましょう。また、避難所では他の避難者の迷惑とならないよう自分のペットの管理をしましょう。

8 地域で協力を

高齢者や身体の不自由な人など、避難に時間を要する人については、避難準備・高齢者等避難開始などを参考にして早めに避難するようにしましょう。

普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力し合い、豪雨災害による犠牲を防ぎましょう。